



佐織中だより

～ 多様な「幸せ」実現 ～

愛西市立佐織中学校

第31号

令和6年1月19日

(発行者) 佐古 達哉

♪ どんどん「キレイ」になっています！

先日、朝の登校指導に行こうとテニスコート南の道路を歩いていると、地域の方から「最近、学校がきれいになっていますね」という、嬉しいお声をかけていただく機会がありました。

学校の敷地というのは本当に広大で、しかも日課の中で15分設定をしている「清掃の時間」以外は、子どもたちも先生方も、常に授業・業務に追われ、なかなか校地の「環境整備」に十分な時間と手間を割けない状況にあるため、実際にはなかなか良い環境を維持・管理するのに苦労をしている現実があります。また、一般の企業・事業所・公共団体等でこのような業務を担当することが多い「総務」のような部署や人員の配置も学校にはないため、どの学校も「環境整備」の重要性・必要性は認識しているものの、望ましい十分な環境を整えられないことが多く、本校でも校地の環境整備の充実は、恒常的な問題の一つとなっていました。

そんな中、第26号の「学校だより」で紹介をさせていただいた校務補助員の岡部さんが、校地の「環境整備」を主な業務として勤務していただけるようになったことで、これまで校務主任の伊藤先生、用務員の石田さんが時間のない中で何とか整えてくださっていた部分や、みんなが気付いていただければ実際には手が付けられなかった部分を、精力的に日々コツコツと整えていただけるようになりました。その結果として、冒頭で紹介したように、地域の方にも変化が伝わる環境へと整えられている実感があることを嬉しく思うとともに、改めて生徒・職員が、自分たちが生活する場所をより良い場所になるよう維持・管理に努めなければならないと思いました。



春から秋にかけて草木が生い茂る時期には、3回の「除草ボランティア」を実施し、毎回多くの保護者・地域の方に校地整備にご協力をいただけていること、そして9月から開始をした「学校開放」にお越しをいただける保護者の皆様のご協力なども含め、「学校」という場所が、決して生徒・教員だけで活動する「閉じられた場」になることがないよう、今後も「地域で子どもたちを育てる場所」としてのより良いあり方を模索していきたいと思います。今後とも、多くの皆様のご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



♪ 自主的・主体的な「ムーブメント」

先週木曜の昼休みに、3人の生徒が校長室を訪ねてきました。いつも校長室に生徒が来る際は、学年や担当の先生と一緒に来るのですが、今回は特に誰か先生が付き添うわけでもなく、自分たちだけで来た様子。「どうしたの？」と声をかけると、3人の子は「校長先生一、募金の活動をしてもいいですか？」と伝えてくれました。どうやら、今回の能登を襲った地震の様子に心を痛めて、「自分たちも何かしたい」という思

いから行動を起こしてくれたようでした。

こういった自主的・主体的な行動は、実際にはなかなか実行できるものではなく、その行動力に感動した私は、何はさておき「すごいねー」と3人に伝えました。その後3人には、お金がかかわることになるので、学年や生徒会・委員会などの先生に相談をしながら、全校みんなの協力が得られるようにぜひがんばってね、と伝えて見送りましたが、これまでの佐織中ではなかなかなかった出来事に、嬉しい気持ちで胸がいっぱいになりました。

3人の勇気ある素晴らしい行動が、今後校内でどんな「ムーブメント」になっていくのか本当に楽しみです。これからたくさんの自主的・主体的な、アツイ思いあふれる多様な「ムーブメント」が、学校全体に広がるきっかけになってほしいと願います。校長室に来てくれた3人の子たち、今後の展開を楽しみに応援しています！！

♪「オアシスルーム」アンケートへのご協力、ありがとうございました！

12月から1月にかけて実施をした「オアシスルーム」に関するアンケートについて、たくさんの生徒・保護者の皆様にご協力をいただき、ありがとうございました。今回いただいたアンケートの集約内容は、Cラーニングにて、この学校だよりと同時に配信をしましたが、今年度から開設をした「オアシスルーム」が、多様な状況にある子どもたちを支える大切な場所としてさらに成長する重要な手がかりとして、皆さんのお声を活用していきたいと思えます。

なお、現在保護者の皆様を対象に実施をしている「グループ担任制」に関するアンケートにつきましては、21日（日）が入力締め切りとなっています。こちらにつきましても、多くの皆様の率直な声をお寄せいただきますよう、ご協力をお願いいたします。